

平成30年度事業報告書

I 定款に定める事業の実績

平成30年度においては、北海道内の市町村の健全な発展を図るために、市町村振興宝くじの収益金をもって北海道から交付される交付金及びその運用益を活用し、市町村の振興を支援する次の事業を実施した。

1 市町村に対する資金貸付事業（定款第4条第1項第1号）

市町村振興宝くじ交付金基金を活用し、市町村において緊急に整備を必要とする施設等整備事業に対する資金の貸付けを実施した。

(1) 長期貸付

市町村振興宝くじの収益金等に係る交付金及び市町村からの貸付償還金等を積み立てた市町村振興宝くじ交付金基金を原資として、次のとおり実施した。

ア 貸付実績

(ア) 5月貸付（貸付日：平成30年5月25日）

（単位：円）

団体名	件数	貸付額	団体名	件数	貸付額
小樽市	4	27,600,000	福島町	2	23,600,000
旭川市	1	9,400,000	森町	2	295,400,000
釧路市	4	271,400,000	倶知安町	1	132,800,000
北見市	1	28,500,000	雄武町	1	36,700,000
網走市	7	394,800,000	豊浦町	1	128,000,000
稚内市	9	97,100,000	新ひだか町	1	38,800,000
赤平市	1	6,300,000	標茶町	1	228,100,000
名寄市	1	500,000,000	別海町	4	105,500,000
千歳市	19	365,000,000	中標津町	3	83,000,000
富良野市	1	30,000,000	町村計（9）	16	1,071,900,000
登別市	12	370,000,000	5月計（22）	80	3,818,500,000
伊達市	1	500,000,000	うち15年償還	56	1,980,900,000
北広島市	3	146,500,000	うち20年償還	24	1,837,600,000
市計（13）	64	2,746,600,000			

(イ) 3月貸付（貸付日：平成31年3月25日）

（単位：円）

団体名	件数	貸付額	団体名	件数	貸付額
室蘭市	4	176,900,000	白老町	2	52,900,000
網走市	3	13,700,000	音更町	6	494,600,000
富良野市	1	27,700,000	幕別町	2	82,700,000
市計（3）	8	218,300,000	豊頃町	2	30,600,000
七飯町	1	500,000,000	鶴居村	3	117,400,000
ニセコ町	2	12,300,000	別海町	5	104,500,000
猿払村	2	26,300,000	町村計（12）	32	1,775,000,000
枝幸町	2	52,300,000	3月計（15）	40	1,993,300,000
利尻町	2	2,300,000	うち15年償還	33	1,219,600,000
遠軽町	3	299,100,000	うち20年償還	7	773,700,000

【充当財源】貸付金：5,811,800,000円（市町村振興宝くじ基金積立資産）

事務費：1,261,763円（特定資産運用益）

イ 貸付利率

貸付利率については、資金貸付規則第2項の「貸付利率の特例」により、貸付日における当協会の貸付条件(償還期限15年以内若しくは20年以内、うち据置期間3年以内)と同じである財政融資資金の貸付金利から0.3%を減じた利率。ただし、財政融資資金の貸付金利が0.4%以上0.7%未満の場合には0.3%とし、財政融資資金の貸付金利が0.3%以下の場合には、財政融資資金の貸付金利と同率とした。

区 分	5月貸付	3月貸付
15年償還(3年据置)	0.1%	0.04%
20年償還(3年据置)	0.3%	0.2%

(2) 短期貸付

短期貸付の実績はなかった。

2 市町村振興宝くじ交付金を市町村に交付する事業(定款第4条第1項第2号)

北海道から交付された平成30年度新市町村振興宝くじ(ハロウィンジャンボ宝くじ)の収益金及び時効金に係る交付金の全額を、次のとおり札幌市を除く全市町村に交付した。

(1) 交付金の内訳

(単位:円)

区 分 交付金の内訳	都道府県への 配 分 総 額	北海道からの交付状況		市町村への交付状況	
		交付金額	交付年月日	交付金額	交付年月日
収益金配分額	14,185,684,780	719,247,889	H30.12.26	757,006,487	H31.2.15
時効金配分額	745,627,954	37,758,598	H31.2.15		
合 計 (A)	14,931,312,734	757,006,487		757,006,487	
H29年度交付額(B)	11,869,588,212	596,358,305		596,358,305	
増減額 (A)-(B) 前年度対比	3,061,724,522 (25.79%増)	160,648,182 (26.94%増)		160,648,182 (26.94%増)	

(2) 交付金の交付基準

市町村交付金は、各市町村に均等に配分する均等割(4割)と市町村の人口に応じて配分する人口割(6割)により算定して得た額の合算額としている。

均等割の算定に用いる市町村数は、北海道からの交付金が交付される年度の4月1日を基準とし、人口割の人口は、官報で告示された最近の国勢調査(平成27年)の結果による人口(札幌市を除く)を基準としている。

なお、均等割の市町村数は、平成29年度から平成32年度まで、市町村合併による特例措置(基準日:平成17年1月1日、道内市町村数:210.2)の廃止による影響を緩和するため経過措置を適用している。

(3) 交付金の市町村別交付状況

(単位：円)

市町村名	交付額	市町村名	交付額	市町村名	交付額	市町村名	交付額
函館市	39,283,693	秩父別町	1,892,867	八雲町	4,624,991	斜里町	3,179,969
小樽市	17,708,266	雨竜町	1,924,125	長万部町	2,344,903	清里町	2,119,084
旭川市	46,539,042	北竜町	1,822,407	江差町	2,652,440	小清水町	2,233,516
室蘭市	13,289,899	沼田町	1,981,341	上ノ国町	2,205,835	訓子府町	2,235,503
釧路市	26,263,783	当別町	3,848,419	厚沢部町	2,096,303	置戸町	1,969,553
帯広市	23,986,560	新篠津村	2,000,943	乙部町	2,077,363	佐呂間町	2,270,203
北見市	19,955,869	島牧村	1,758,568	奥尻町	1,916,310	遠軽町	6,664,608
夕張市	2,731,245	寿都町	1,975,513	今金町	2,305,434	湧別町	3,562,649
岩見沢市	14,311,542	黒松内町	1,968,229	せたな町	4,242,273	滝上町	1,920,416
網走市	6,735,589	蘭越町	2,201,464	鷹栖町	2,489,533	興部町	2,077,761
留萌市	4,503,095	ニセコ町	2,216,696	東神楽町	2,915,343	西興部村	1,707,842
苫小牧市	24,438,198	真狩村	1,838,565	当麻町	2,445,958	雄武町	2,159,347
稚内市	6,378,385	留寿都村	1,812,606	比布町	2,060,278	大空町	3,314,845
美唄市	4,610,905	喜茂別町	1,863,862	愛別町	1,954,190	音更町	7,494,499
芦別市	3,503,797	京極町	1,982,135	上川町	2,095,641	士幌町	2,372,186
江別市	17,537,677	倶知安町	3,549,093	東川町	2,634,295	上士幌町	2,191,134
赤平市	3,030,836	共和町	2,384,371	美瑛町	2,923,158	鹿追町	2,294,044
紋別市	4,620,706	岩内町	3,287,382	上富良野町	2,993,883	新得町	2,392,848
士別市	4,977,560	泊村	1,794,593	中富良野町	2,231,397	清水町	2,831,373
名寄市	6,187,314	神恵内村	1,693,008	南富良野町	1,898,430	芽室町	4,008,148
三笠市	2,762,104	積丹町	1,840,154	占冠村	1,720,424	中札内村	2,085,310
根室市	5,125,057	古平町	1,982,268	和寒町	2,036,305	更別村	1,981,871
千歳市	14,228,139	仁木町	2,023,326	剣淵町	1,987,566	大樹町	2,320,003
滝川市	7,015,710	余市町	4,156,884	下川町	2,029,816	広尾町	2,491,122
砂川市	3,903,516	赤井川村	1,708,504	美深町	2,177,095	幕別町	5,884,279
歌志内市	2,034,849	豊浦町	2,128,355	音威子府村	1,670,227	池田町	2,471,520
深川市	4,461,772	壮瞥町	1,947,038	中川町	1,794,063	豊頃町	1,981,473
富良野市	4,597,793	白老町	3,909,609	幌加内町	1,762,012	本別町	2,534,564
登別市	8,132,620	厚真町	2,200,802	増毛町	2,155,638	足寄町	2,485,824
恵庭市	10,791,720	洞爺湖町	3,571,656	小平町	2,001,870	陸別町	1,888,762
伊達市	6,974,964	安平町	3,419,211	苫前町	1,992,466	浦幌町	2,211,530
北広島市	9,382,769	むかわ町	3,478,547	羽幌町	2,530,458	釧路町	4,186,816
石狩市	10,727,181	日高町	3,979,454	初山別村	1,721,219	厚岸町	2,855,081
北斗市	8,484,176	平取町	2,263,979	遠別町	1,931,674	浜中町	2,362,783
市計	389,216,331	新冠町	2,300,666	天塩町	1,989,552	標茶町	2,585,423
(34市)		浦河町	3,291,752	猿払村	1,915,516	弟子屈町	2,587,542
南幌町	2,609,925	様似町	2,158,420	浜頓別町	2,074,052	鶴居村	1,895,649
奈井江町	2,311,526	えりも町	2,209,809	中頓別町	1,792,739	白糠町	2,628,600
上砂川町	2,020,809	新ひだか町	5,416,881	枝幸町	3,457,488	別海町	3,582,867
由仁町	2,263,846	松前町	2,531,783	豊富町	2,096,965	中標津町	4,708,782
長沼町	3,026,995	福島町	2,145,705	礼文町	1,927,303	標津町	2,254,310
栗山町	3,194,935	知内町	2,176,300	利尻町	1,865,054	羅臼町	2,277,223
月形町	2,166,234	木古内町	2,162,261	利尻富士町	1,929,157	町村計	367,790,156
浦臼町	1,822,936	七飯町	5,284,388	幌延町	1,884,126	(144町村)	
新十津川町	2,464,765	鹿部町	2,119,746	美幌町	4,248,138	合計	757,006,487
妹背牛町	1,969,421	森町	4,452,018	津別町	2,223,318		

【充当財源】 交付金：757,006,487円(受取新宝くじ交付金振替額)

事務費：75,940円(特定資産運用益)

3 市町村等が実施する各種事業等に対する助成(定款第4条第1項第3号)

市町村等が地域活性化のために実施する各種事業及び市町村で構成する団体が行う事業に対し、次のとおり助成した。

(1) 研修支援事業

事業名	事業概要及び事業実績	助成団体及び助成額
地域づくりセミナー開催支援事業	地域住民参画の下、グループ討議やワークショップ等を通じて地域づくりを推進するためのセミナーを自主的に開催した市町村に対し、当該セミナー開催に要した経費について30万円を限度に助成した。 支援事業数：62件	岩見沢市ほか34市町村 14,217,000円 【充当財源】 受取宝くじ交付金振替額
市町村職員まちづくり研修会開催支援事業	職員を対象に、グループ討議やワークショップ等を通じてまちづくりに関する知識の習得や政策形成能力の向上を図るための研修会を開催した市町村に対し、当該セミナー開催に要した経費について30万円を限度に助成した。 支援事業数：24件	江別市ほか19市町 5,254,000円 【充当財源】 受取宝くじ交付金振替額
北海道都市問題会議支援事業	都市が抱える共通の問題や課題について研究・討議するため、北海道都市問題会議実行委員会(構成団体：北海道都市地域学会、北海道市長会及び三笠市)が開催した当該会議に対して助成した。 <北海道都市問題会議> 出席者：321名 ・基調講演：「観光の新しい潮流と地域」 東京工業大学環境・社会理工学院准教授 十代田 朗 氏 ・パネルディスカッション テーマ：「大地の恵みを活かしたブランディング戦略の構築に向けて」 ・翌日 北海道都市地域学会セミナー ・市内施設見学、ジオパークツアー	第42回北海道都市問題会議実行委員会 487,000円 【充当財源】 受取宝くじ交付金振替額
市長会研修支援事業	北海道市長会が実施した次の研修事業に対して助成した。 (1) 主管者研修会：374名 (財政、税務、地方分権・創生、人事行政、国保、保健医療福祉、環境、介護保険、水産) (2) 係長等研修会：295名 (人事行政・研修担当、財政担当係長、国保事務担当者、保健衛生担当係長、医療助成担当係長、廃棄物処理実務担当、給与制度担当) (3) 参与会議：67名 (4) 政策研究・研修会：12名	北海道市長会 2,020,000円 【充当財源】 受取宝くじ交付金振替額
町村会研修支援事業	北海道町村会が実施した次の研修事業に対して助成した。 (1) 町村職員研修講師養成等研修：253名 (2) 研修講師フォローアップ研修：58名 (3) 全道副市町村長セミナー：163名 (4) 政策懇談会：108名 (5) 市町村人事行政担当課長等研修会：82名 (6) 給与制度研修会 196名	北海道町村会 969,000円 【充当財源】 受取宝くじ交付金振替額
市議会議長会研修支援事業	北海道市議会議長会が実施した次の研修事業に対して助成した。 (1) 議員研修会：112名 (2) 議会事務局職員研修会：59名	北海道市議会議長会 330,000円 【充当財源】 受取宝くじ交付金振替額

事業名	事業概要及び事業実績	助成団体及び助成額
町村議会議長会 研修支援事業	北海道町村議会議長会が実施した次の研修事業に対して助成した。 (1) 議長・事務局長研修会：296名 (2) 議員研修会：1,797名 (3) 議会広報研修会：526名 (4) 新任事務局長研修会：44名 (5) 事務担当者研修会：127名 (6) 議会事務局職員研修会：168名 (7) 事務局長研究会：136名 (8) 地区研修会(4回)：259名	北海道町村議会議長会 4,000,000円 【充当財源】 受取宝くじ交付金振替額
町村等監査委員 協議会研修支援 事業	北海道町村等監査委員協議会が実施した次の研修事業に対して助成した。 (1) 監査委員・補助職員研修会：483名 (2) 定例大会研修会：484名 (3) 監査補助職員研修会：269名 (4) 監査ゼミナール研修会：333名	北海道町村等監査委員 協議会 775,000円 【充当財源】 受取宝くじ交付金振替額
合 計		助成額：28,052,000円 事務費：39,580円

(2) 助成事業

事業名	事業概要及び事業実績	助成団体及び助成額
いきいきふるさと 推進事業助成 金交付事業	地域の課題に対応し、地域の活性化を図るための観光の振興や地場産業の振興などの政策課題に基づき、市町村又は市町村が関与する実行委員会等が広域的又は小規模(単独)で実施した特色あるイベント事業や試験研究事業などのソフト事業に対して助成した。 (1) 広域的事業 81市町村、14事業、34,990千円 (2) 小規模(単独)事業 95市町村、206事業、172,970千円	函館市ほか135市町村 207,960,000円 【充当財源】 受取宝くじ交付金振替額 及び特定資産受取利息
市町村アカデミ ー等研修受講助 成金交付事業	市町村職員等の専門的、実務的資質の向上や国際化対応能力等の育成を図るため、市町村職員中央研修所等が実施する研修の受講に要する経費の一部について、当該受講生を派遣した市町村等に対して助成した。 (1) 市町村職員中央研修所：238名 (2) 全国市町村国際文化研修所：82名 (3) 全国建設研修センター：43名 (4) 日本下水道事業団研修センター：37名 計 400名	函館市ほか98市町村等 11,999,000円 【充当財源】 受取宝くじ交付金振替額 及び受取全国協会等助成金
救急救命士追加 講習受講経費助 成金交付事業	救急救命体制の充実を図るため、市町村等の救急救命士が受講した次の追加講習に係る経費の一部について、その経費を負担した市町村等に対して助成した。 (1) ビデオ硬生挿管用(硬環境)による気管挿管講習(北海道消防学校)：120名 (2) 気管挿管再認定講習(北海道消防学校 外)：280名 (3) 処置拡大2行為講習(北海道消防学校)：216名 (4) 処置拡大2行為講習(札幌市消防学校)：0名 計 616名	江別市ほか56市町村等 8,760,000円 【充当財源】 受取宝くじ交付金振替額

事業名	事業概要及び事業実績	助成団体及び助成額
(一財)地域活性化センター会費助成金交付事業	<p>地域社会の活性化のための諸活動を支援し、地域振興の推進に寄与することを目的として設立された(一財)地域活性化センターの会員として道内市町村が納入する会費の一部について助成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 北海道市長会 (34 市分) : 2,380,000 円 ・ 北海道町村会(144 町村分) : 5,040,000 円 	<p>北海道市長会及び北海道町村会 7,420,000円</p> <p>【充当財源】 特定資産受取利息</p>
市町村職員自主調査研究グループ助成金交付事業	<p>地域における課題の解決策を自主的に調査研究するため、市町村職員が中心となって結成したグループに対して、当該調査研究に要した経費について 25 万円を限度に助成した。</p>	<p>登別市地域回想法研究会ほか1グループ 355,000円</p> <p>【充当財源】 特定資産受取利息</p>
広域消防航空応援交付金交付事業	<p>北海道広域消防相互応援協定に基づく回転翼航空機による応援のために要した経費で、当該消防航空応援を受けた市町村等が支払った経費に対して 300 万円を限度とする実費額の範囲内で交付金を交付する事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象事案なし 	<p>該当市町村なし</p>
災害見舞金交付事業	<p>平成 30 年 9 月 6 日に北海道胆振東部地震災害が発生し、災害救助法の適用区域に指定された市町村に対して、その復旧対策の促進が図られるよう災害規模及び態様に応じて見舞金を交付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 厚真町 : 5,000,000 円 ・ 安平町 : 5,000,000 円 ・ むかわ町 : 2,000,000 円 ・ 日高町 : 1,000,000 円 ・ 北広島市 : 1,000,000 円 	<p>厚真町ほか4市町 14,000,000円</p> <p>【充当財源】 特定資産受取利息</p>
合 計		<p>助成額 : 250,494,000円 事務費 : 187,810円</p>

4 市町村の振興に関する調査研究及び情報資料等提供事業 (定款第4条第1項第4号)

(1) 調査研究事業

市町村振興支援事業等に係る今後の事業展開に資するため、協会事業に対する市町村の評価、意見、要望等についてアンケート調査を実施するとともに、市町村及び関係団体等の職員による「北海道市町村振興協会事業に関する調査検討会」を設置し、アンケート調査結果等を踏まえ、市町村の振興に効果的な事業のあり方について検討した。

<アンケート調査>

- ・ 調査期間 : 平成30年4月6日～5月9日
- ・ 調査対象 : 札幌市を除く178市町村
- ・ 報告書 : A4判 300部作成

<調査検討会>

- ・ 構 成 員 : 市町村、北海道、北海道市長会、北海道町村会、北海道市町村振興協会
- ・ 開催回数 : 4回 (平成30年6月11日～10月17日)
- ・ 開催場所 : 札幌市 (北海道自治会館6階 特別会議室)

【充当財源】 事業費 : 1,029,468円 (特定資産受取利息)

(2) 情報資料等提供事業

市町村の振興に必要な情報収集や資料の整備を図るとともに、政策情報や行財政関係の各種資料を発行し、市町村等に提供した。

ア 情報の収集及び市町村ライブラリーの整備・提供

情報を収集するとともに行財政関係図書・資料等を整備し、市町村職員等の情報収集の場として提供した。

【充当財源】事業費：2,043,674円（特定資産受取利息）

イ 市町村政策情報誌「プラクティス」の発行

市町村職員の政策形成能力向上に資するため、政策情報等を掲載した情報誌を発行した。

（年3回、A4判、5,000部/回）

【充当財源】事業費：15,016,782円（特定資産受取利息）

ウ 各種行財政関係資料の発行

市町村職員が必要とする各種行財政関係資料等を北海道の監修により発行した。

(ア) 「市町村職員必携」(平成30年7月、ポケット版：4,300部)

(イ) 「市町村の財政概要」(平成30年7月、A4判：350部)

(ウ) 「市町村の地方交付税概要」(平成30年7月、A4判：330部)

(エ) 「市町村における職員数及び給料等の概要」(平成30年8月、A4判：310部)

(オ) 「市町村の組織と運営の概要」(平成30年8月、A4判：400部)

(カ) 「市町村税の概要」(平成31年2月、A4判：310部)

(キ) 「市町村補助金ハンドブック」(平成30年12月、A4判：950部)

【充当財源】事業費：3,330,418円（特定資産受取利息）

5 市町村職員等の資質向上や人材育成を図るための研修事業(定款第4条第1項第5号)

(1) 北海道市町村長交流セミナー

道内市町村における当面する政策課題をテーマに、市町村長が一堂に会したセミナーを開催した。

・開催日：平成30年7月12日(木)

・開催場所：札幌市(ホテル ポールスター札幌)

・セミナーの内容

講演Ⅰ：「関係人口の捉え方と自治体の役割」

島根大学教育学部共生社会教育講座地理学担当教授 作野 広和 氏

講演Ⅱ：「“深化”による進化～地域密着から生まれる活性化」

株式会社セコマ代表取締役社長 丸谷 智保 氏

・参加者：市町村長129名、道幹部17名、その他関係者名25名、計171名

【充当財源】事業費：1,771,559円（受取宝くじ交付金振替額）

(2) 市町村職員外国派遣研修

市町村職員等を対象に、諸外国における行政実情等の調査研究を通して、総合的行政能力の向上を図るとともに、国際的視野と識見をもった人材を養成することを目的とした当該研修を実施した。また、研修成果を取りまとめた報告書(平成31年3月発行、A4判：570部)を作成し、市町村等関係機関へ配付した。

・実施期間：平成30年9月9日(日)～9月19日(水) 11日間

(事前研修：8月2日～3日、事後研修：10月11日～12日)

・研修テーマ：地域振興、環境対策、社会福祉、

・派遣国：オランダ、デンマーク、スウェーデン

・参加者：市町村等職員21名、事務局職員2名

【充当財源】事業費：13,760,190円（受取宝くじ交付金振替額）

(3) 市町村職員道内先進事例研修

市町村職員等を対象に、個性豊かな地域づくりや行政課題解決に向けた取組を行っている道内先進市町村の実態を学ぶとともに、訪問先の職員等と相互に意見交換を行い、今後の地域づくりや自治体運営等に資することを目的とした当該研修を実施した。また、研修の概要は、「研修レポート」としてホームページに掲載した。

・実施期間：平成30年10月31日(水)～11月2日(金) 3日間

・研修先及び研修テーマ

沼田町：農村型コンパクトエコタウンの取組について

秩父別町：「キッズスクエアちっくる」の整備と定住促進の取組について

北竜町：商業活性化施設「COCOWA」の整備と買い物支援対策について

・参加者：市町村等職員13名、事務局職員3名

【充当財源】事業費：309,368円（受取宝くじ交付金振替額）

(4) 市町村職員道外先進事例研修

市町村職員等を対象に、個性豊かな地域づくりや行政課題解決に向けた取組を行っている道外先進市町村の実態を学ぶとともに、訪問先の職員や地域リーダーと意見交換を行い、今後の地域づくりや自治体運営等に資することを目的とした当該研修を実施した。また、研修の概要は、「研修レポート」としてホームページに掲載した。

・実施期間：平成30年11月11日(日)～11月14日(水) 4日間

・研修先及び研修テーマ

千葉県鋸南町：廃校の学舎を活用した都市と農村との交流拠点づくりの取組について

埼玉県横瀬町：「日本一チャレンジする町」官民連携のプラットホームの取組について

埼玉県小鹿野町：健康長寿の町「おがの」をめざしての取組について

・参加者：市町村職員17名、事務局職員3名

【充当財源】事業費：1,257,103円（受取宝くじ交付金振替額）

(5) 北海道・市町村交流職員研修会

北海道と市町村の交流職員等を対象に、地方自治に関する知識を深め、その能力の一層の向上を図り、市町村自治の発展に寄与することを目的とした当該研修を実施した。また、研修(講演)内容の概要は、政策情報誌「プラクティス」第28号に掲載した。

・開催日：平成30年11月8日(木)

・開催場所：札幌市(ホテルポールスター札幌)

・研修内容

講演Ⅰ：「急増する空き家とこれからのまちづくり」

富士通総研経済研究所主席研究員

米山秀隆氏

講演Ⅱ：「観光による地域振興について」

長野県立大学グローバルマネジメント学部教授・公共経営コース長

田村秀氏

・参加者：163名

【充当財源】事業費：1,326,721円（受取宝くじ交付金振替額）

(6) 市町村職員研修センター運営費負担

道内の市町村職員等の資質向上と能力開発の研修を行うため、北海道、北海道市長会、北海道町村会及び当協会で組織する「北海道市町村職員研修センター」の構成員として、その運営に要する経費について負担した。

【充当財源】事業費：50,769,160円（受取宝くじ交付金振替額）

II 基金の管理

1 市町村振興宝くじ基金(指定正味財産)積立資産

(単位:円)

区 分	金 額	摘 要
期首残高 (A)	6,687,934,962	
積立額 (B)	7,284,951,226	
市町村振興宝くじ交付金	1,208,416,098	
短期貸付金償還元金	0	
長期貸付金償還元金	6,076,535,128	繰上償還を含む
取崩額 (C)	5,951,800,000	
短期貸付金	0	
長期貸付金	5,811,800,000	
一般正味財産(公益目的事業費)へ振替	140,000,000	
期末残高 (A)+(B)-(C)	8,021,086,188	

【参考】平成30年度市町村振興宝くじ(サマージャンボ宝くじ等)交付金の内訳

(単位:円)

交付金の内訳	都道府県への 配分総額	北海道からの 交 付 額		
		当協会分(90%)	全協納付分(10%)	
収 益 金 額	25,500,390,035	1,268,458,324	1,141,612,492	126,845,832
時 効 金 額	1,498,054,015	74,226,227	66,803,606	7,422,621
合 計 (A)	26,998,444,050	1,342,684,551	1,208,416,098	134,268,453
H29年度交付額 (B)	30,212,735,735	1,488,532,597	1,339,679,342	148,853,255
増減額 (A)-(B)	△3,214,291,685	△145,848,046	△131,263,244	△14,584,802
前年度対比	(10.64%減)	(9.80%減)	(9.80%減)	(9.80%減)

2 公益目的事業基金(一般正味財産)積立資産

(単位:円)

区 分	金 額	摘 要
期首残高 (A)	600,000,000	
積立額 (B)	0	
取崩額 (C)	0	
期末残高 (A)+(B)-(C)	600,000,000	

3 協会設立周年記念事業積立資産(一般正味財産)

(単位:円)

区 分	金 額	摘 要
期首残高 (A)	250,000,000	
積立額 (B)	0	
取崩額 (C)	0	
期末残高 (A)+(B)-(C)	250,000,000	

Ⅲ 会議の開催等

1 理事会

次のとおり理事会を開催した。

開催年月日 及び場所	議 事	議事結果及び報告内容
第1回理事会 平成30年 5月17日 自治会館6階 [特別会議室]	1 平成29年度事業報告について	平成29年度の事業報告を承認した。
	2 平成29年度決算について	平成29年度の決算を承認した。
	3 任期満了に伴う理事及び監事候補者の推薦について	任期満了に伴う理事及び監事候補者の推薦を決定した。
	4 評議員の辞任に伴う補欠選任候補者の推薦について	評議員の辞任に伴う補欠選任候補者の推薦を決定した。
	5 平成30年度定時評議員会の開催について	平成30年度定時評議員会の開催について招集決定した。
	【報告事項】	
1 平成30年2月17日から平成30年5月17日までの理事長及び常務理事の職務の執行状況について		
第2回理事会 平成30年 6月12日 [書面決議]	1 理事長の選定について	理事長に「棚野 孝夫」理事を選定した。
	2 常務理事の選定について	常務理事に「石橋 秀規」理事を選定した。
第3回理事会 平成30年 7月18日 [書面決議]	1 理事の辞任に伴う補欠選任候補者の推薦について	理事の辞任に伴う補欠選任候補者の推薦を決定した。
	2 評議員会の決議について	評議員会を開催することなく、決議の省略の方法により行うことを決定した。
第4回理事会 平成31年 2月25日 自治会館6階 [特別会議室]	1 平成31年度事業計画(案)について	平成31年度事業計画を承認した。
	2 平成31年度収支予算(案)について	平成31年度収支予算を承認した。
	3 「市町村振興宝くじ基金」の取崩について	「市町村振興宝くじ基金」の一部について、取り崩すことを決定した。
	4 「特定費用準備資金(協会設立周年記念事業積立資産)」の取崩について	「特定費用準備資金(協会設立周年記念事業積立資産)」について、取り崩すことを決定した。
	5 平成31年度資産運用方針(案)について	平成31年度資産運用方針を承認した。
	6 平成30年度第2回臨時評議員会の開催について	平成30年度第2回臨時評議員会の開催について招集決定した。
	【報告事項】	
1 平成30年5月18日から平成31年2月25日までの理事長及び常務理事の職務の執行状況について		

2 評議員会

次のとおり評議員会を開催した。

開催年月日 及び場所	議 事	議事結果及び報告内容
定時評議員会 平成30年 6月12日 自治会館6階 [特別会議室]	1 平成29年度決算について	平成29年度の決算を承認した。
	2 任期満了に伴う理事及び監事の選任について	任期満了に伴う理事及び監事の選任について、次の者を選任した。 <理事> 松野 哲(岩見沢市長) 小笠原 春一(登別市長) 棚野 孝夫(白糠町長) 浜田 哲(美瑛町長) 吉澤 政昭(北海道市長会事務局長) 谷本 辰美(北海道町村会常務理事) 石橋 秀規(公益財団法人北海道市町村振興協会事務局長) <監事> 阿部 宏司(北海道市町村備荒資金組合副組合長) 村川 寛海(北海道町村議会議員公務災害補償等組合副組合長)
	3 評議員の辞任に伴う補欠選任について	辞任する評議員の後任として、次の者を補欠選任した。 <補欠選任評議員> ・宮坂 尚市朗(厚真町長) <辞任評議員> ・瀧 孝(安平町長)
	【報告事項】 1 平成29年度事業報告について	
第1回 臨時評議員会 平成30年 7月25日 [書面決議]	1 理事の辞任に伴う補欠選任について	辞任する理事の後任として、次の者を補欠選任した。 <補欠選任理事> ・柴田 達夫(北海道町村会常務理事) <辞任理事> ・谷本 辰美(北海道町村会常務理事)
第2回 臨時評議員会 平成31年 3月27日 自治会館6階 [特別会議室]	【報告事項】 1 平成31年度事業計画について 2 平成31年度収支予算について	

3 監事監査

次のとおり監事監査を実施した。

実施年月日 及び場所	監 査 事 項	監 査 結 果
平成30年 5月9日 自治会館5階 [第2会議室]	平成29年度会計の収支決算及び 事業執行	いずれも適正に処理されている（貸借対照表、正味 財産増減計算書、財産目録及び収支計算書は、会計帳簿の 記載金額と一致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示 しており、事業報告の内容は、真実である）と認められ た。また、理事の職務執行に関する不正の行為又は 法令若しくは定款に違反する重大な過失はないと 認められた。

4 助成金審査会

定款の第4条第1項第3号の規定に基づき実施する助成のうち、理事長の指定する事業について審査するため、次のとおり助成金審査会を開催した。

開催年月日 及び場所	審 査 事 項	審査結果（答申内容）
第1回審査会 平成30年 5月24日 自治会館5階 [第2会議室]	1 地域づくりセミナー開催支援金 交付事業について	申請のあった69件(2件は取下げ)のうち、64 件について採択することが適当である。 なお、2件について採択決定を保留、1件につ いては不採択とすることが適当である。
	2 市町村職員まちづくり研修会開 催支援金交付事業について	申請のあった27件のうち、27件について採 択することが適当である。
	3 市町村職員自主調査研究グルー プ助成金交付事業について	申請のあった4件のうち、2件を採択するこ とが適当である。 なお、2件については不採択とすることが適 当である。
第2回審査会 平成30年 6月27日 自治会館6階 [特別会議室]	1 地域づくりセミナー開催支援金 交付事業について	採択決定を保留していた2件について採 択することが適当である。
	2 いきいきふるさと推進事業助成 金交付事業について	申請のあった244件のうち、235件を採 択することが適当である。ただし、11件につ いては、助成決定額を減額の上で採択するこ とが適当である。 なお、9件については不採択とすることが適 当である。

5 公認会計士による会計処理業務指導

会計基準に基づく会計取引の処理全般について、定期(4月、8月、12月、3月)及び随時に公認会計士による会計処理業務指導及び助言を受けた。

6 その他諸会議

当協会の業務の円滑な推進を図るため、各種事業の周知と情報交換を行う地区情報連絡員会議を開催した。

- ・開催日：平成30年4月5日
- ・場 所：自治会館6階「特別会議室」

IV 市町村振興宝くじの販売促進

市町村振興宝くじ(サマージャンボ等)及び新市町村振興宝くじ(ハロウィンジャンボ等)の販売促進を図るため、次の広報宣伝活動を行った。

- 1 市町村及び関係団体(24団体)に対するポスター掲示依頼及び道内178市町村に対する広報紙等への掲載依頼
- 2 北海道町村会報及び北海道市町村職員共済だよりへの広告掲載
- 3 新聞折込チラシによる広報宣伝(7月2日:281,170枚)
- 4 JRタワーエキサイトビジョン
(掲出期間:7月9日~22日[2週間]、10月1日~14日[2週間])
- 5 札幌駅前通り地下広場(地下鉄南北線大通駅)壁面広告
(掲出期間:7月16日~29日[2週間]、10月8日~21日[2週間])
- 6 その他

V 当協会の概況

1 設立及び公益財団法人への移行並びに情報の公開

昭和54年3月31日財団法人北海道市町村振興協会として設立し、平成24年3月19日北海道知事より「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律(平成18年法律第50号)」第44条の規定に基づく公益財団法人としての認定を受け、平成24年4月1日解散及び設立の登記を行い公益財団法人へ移行した。

また、次の項目をホームページに掲載し、情報公開している。

- ①定款 ②評議員及び役員名簿 ③事業報告書 ④決算報告書 ⑤監査報告
⑥事業計画書 ⑦収支予算書 ⑧諸規程 ⑨事業実績(資金貸付、市町村交付金、助成金等)

2 役員等に関する事項

(1) 理事及び監事(平成31年3月31日現在)

区分	氏名	勤務形態	任期	摘要
理事長	棚野孝夫	非常勤	令和2年度定時評議員会終結の時まで	代表理事
常務理事	石橋秀規	常勤		代表理事
理事	松野哲	非常勤		
理事	小笠原春一	非常勤		
理事	浜田哲	非常勤		
理事	吉澤政昭	非常勤		
理事	柴田達夫	非常勤		
監事	阿部宏司	非常勤		
監事	村川寛海	非常勤		

(2) 評議員(平成31年3月31日現在)

区分	氏名	勤務形態	任期	摘要
評議員	上野正三	非常勤	令和2年度定時評議員会終結の時まで	
評議員	山下貴史	非常勤		
評議員	工藤昇	非常勤		
評議員	宮坂尚市朗	非常勤		
評議員	高間專逸	非常勤		
評議員	西村昭教	非常勤		
評議員	林美枝子	非常勤		

(3) 退任した役員等

区 分	氏 名	退任年月日	摘 要
理事長	菊 谷 秀 吉	平成30年6月12日	
理 事	原 田 裕	平成30年6月12日	
理 事	井 上 久 男	平成30年6月12日	
理 事	谷 本 辰 美	平成30年6月30日	
評議員	瀧 孝	平成30年4月22日	

(4) 役員及び評議員の報酬の支払総額 (平成30年度)

区 分	報酬の支払総額	摘 要	
役 員	理 事	7,572,000円	退任した理事含む
	監 事	108,000円	
評 議 員	144,000円		
計	7,824,000円		

3 職員に関する事項 (平成31年3月31日現在)

所 掌 業 務	職員数	摘 要	
事務局次長の業務	1名	出納役を兼務	
管 理 業 務	参 事	1名	一部公益目的事業を所掌
	主 幹	1名	一部公益目的事業を所掌
	主 任	1名	一部公益目的事業を所掌
	主 事	1名	一部公益目的事業を所掌
公益目的事業	参 事	1名	
	主 幹	1名	
	主 査	2名	うち1名は福島町から派遣
管理業務及び公益目的事業の補助業務	1名	臨時職員	
計	10名		

※ 事務局長は、常務理事が兼務

4 施設の利活用状況

当協会が北海道自治会館に区分所有する施設について、次のとおり自治関係団体に対し無償貸与するとともに、会議室及び駐車場等を無償で自治会館入居団体及び市町村の利活用に供した。

(1) 事務室等の貸与状況

貸 与 団 体	階 数	用 途	面積(m ²)	摘 要
北海道市長会	6階・7階	事務室及び倉庫	177.43	
北海道町村会	6階・7階	事務室及び倉庫	511.23	
北海道市町村備荒資金組合	5階	事務室及び倉庫	101.45	
北海道市町村職員退職手当組合	5階・7階	事務室及び倉庫	173.79	
北海道町村議会議長会	5階	事務室及び倉庫	99.85	
北海道市町村職員共済組合	7階	倉庫	119.23	
計			1,182.98	

(2) 駐車場の貸与状況

貸与団体	階数	用途	面積 (㎡)	摘要
北海道市町村職員共済組合	1階及び 地下1階～3階	駐車場	412.03 (4,022.90㎡のうち、持ち分: 463万8,100分の47万5,043)	駐車場管制設備 等の建物付属設 備を含む

(3) 会議室及び駐車場の利用状況

区 分		月 別												合 計
		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	
会 議 室	特別会議室	5	10	9	5	10	3	11	8	5	8	11	3	88
	第1会議室	7	12	17	10	7	11	11	12	9	8	11	4	119
	第2会議室	13	14	14	9	10	10	12	14	13	11	15	9	144
	第3会議室	9	11	11	10	4	9	9	10	11	10	10	6	110
	多目的会議室	16	9	14	19	11	10	19	15	12	18	12	14	169
	計	50	56	65	53	42	43	62	59	50	55	59	36	630
駐 車 場		32	30	23	34	26	18	34	27	8	13	30	23	298

事業報告の附属明細書

平成30年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は存在しないので作成しない。